

授業科目名	英語 I	開講時期 1 年次前期	単位数 (時間) 2 単位 (30 時間)	必修/選択 必修
担当教員名 Tim Ernst	担当教員所属/研究室 非常勤講師		オフィスアワー	
授業の 目的・目標	目的 目標 To overcome shyness in speaking English and learn new words and phrases			
主な授業内容 (担当教員)				
<p>Introduction to useful vocabulary words. Practice asking basic questions and giving good answers. Work with worksheets to improve English skills. To overcome shyness in communicating in basic English conversation.</p>				
成績評価方法	Attendance, class participation, homework and simple tests			
テキスト	なし			
参考文献				
履修にあつ ての留意点				
備 考	Have fun learning to speak English 参照先 URL :			

授業科目名	赤十字概論	開講時期 1 年次前期	単位数 (時間) 2 単位 (30 時間)	必修/選択 必修
担当教員名 井上忠男	担当教員所属/研究室 看護学部/1 号館 3 階研究室 20		オフィスアワー 毎週水曜日: 13:00~15:00	
授業の 目的・目標	<p>目的 アンリ・デュナンの業績と赤十字の歴史・理念・基本原則から学び、人道を実践する介護者として必要な資質を養う。</p> <p>目標 授業では、国際赤十字・赤新月運動の起源、歴史、理念、基本原則及び日本赤十字社の事業としくみを理解する。特に国際人道法の内容と人道と人権の概念、赤十字標章の適正な使用方法について理解し、人間尊重の文化の担い手としての自覚を養う。</p>			
主な授業内容 (担当教員)				
<p>第一回 : 国際赤十字・赤新月運動の誕生 ・ アンリ・デュナンの人と功績 ・ 赤十字とジュネーブ条約の誕生</p> <p>第二回 : 赤十字と国際人道法の発展</p> <p>第三回 : 日本赤十字社の誕生 ・ 佐野常民の人と功績</p> <p>第四回 : 国際赤十字・赤新月運動のしくみと活動 (1)</p> <p>第五回 : 国際赤十字・赤新月運動のしくみと活動 (2)</p> <p>第六回 : 赤十字の基本原則 (1) ・ 人道主義とは何か、なぜ原則が必要か、人道の原則</p> <p>第七回 : 赤十字の基本原則 (2) ・ 公平、中立の原則</p> <p>第八回 : 赤十字の基本原則 (3) ・ 独立、奉仕、単一、世界性の原則</p> <p>第九回 : 日本赤十字社のしくみと活動 (1)</p> <p>第十回 : 国際人道法の基礎知識—世界の戦争の現実と戦争犠牲者の保護について</p> <p>第十一回 : 赤十字標章の適正使用の知識 ・ 赤十字マークの正しい使用方法</p> <p>第十二回 : 有事の赤十字社の役割 ・ 医療関係者の役割と権利義務</p> <p>第十三回 : 赤十字人に求められる資質とは (1)</p> <p>第十四回 : 赤十字人に求められる資質とは (2) 人道の 4 つの敵</p> <p>第十五回 : 試験</p>				
成績評価方法	試験及びレポート並びに出席状況を総合して評価			
テキスト	「解説 赤十字の基本原則」J・ピクテ (東信堂) 「赤十字と国際人道法」 (日本赤十字社)			
参考文献	『ソルフェリノの思い出』アンリ・デュナン 木内利三郎訳 (日本赤十字社) 『赤十字のしくみと活動』 その他参考文献は、その都度紹介する。			
履修にあたっての留意点	テキストは熟読すること。授業における発表、発言を重視するので、常に「考える姿勢」を持ち授業に臨むこと。日本赤十字社のホームページ、新聞等の国際情勢欄には目を通すこと。			
備考	赤十字関連映画の上映会を別途設定する。 参照先 URL: 担当教員への質疑、連絡は、inoue@rcakita.ac.jp まで。			